



「国際センターだより」では、土木学会の国際活動の一端を紹介しています。国際センターが毎月発行している「国際センター通信」と合わせてぜひご一読ください。

News Pick Up !!

2nd Japan-Myanmar Joint Symposium on Civil Engineering 開催報告



セッションの終わりに

2019年6月29～30日
ミャンマー国ヤンゴン市にて、土木学会、ヤンゴン工科大学、ミャンマー工学会連合、ミャンマー連邦共和国建設省、

JICA 共催「2nd Japan-Myanmar Joint Symposium on Civil Engineering」が開催された。国際センターでは、産官学連携をベースとするミャンマーとの交流を目標に、2013年以来、ミャンマーのニーズと興味を踏まえて、構造分野を軸にインフラ整備、都市計画、防災、技術者教育へと分野を広げながらジョイント活動を展開している。今回、道路整備、都市交通計画、防災を中心にセッションを設け、さらにマンダレー工科大学の参加がかない、ミャンマーの「学」の両翼がそろったシンポジウムとなった。加えて、この機に、ミャンマー工学会がミャンマー工学会連合へと発展し、ミャンマー土木学会が始動して初めてのシンポジウムとなった。ミャンマー側の産官学連携の意義に対する理解が深まるに比例して、当シンポジウムを介した技術交流とミャンマーの土木教育向上への期待が高まっている。この期待に応えるよう、国際センターとして、技術、人、経験とノウハウをもって尽力していく。本シンポジウム終了直後に関係者が集まり、過去2回のシンポジウムを通して見てきた課題とその解決策を議論し、次回のテーマ、準備態勢について意見

交換を行った。両国の関係者間で次回に向けてディスカッションが続く。

第2回 技術者ラウンジ“DOBOKU”を開催

国際センター・教育グループは2019年6月17日(月)に「第2回 技術者ラウンジ“DOBOKU”」を開催した。本企画は海外で活躍する若手技術者を講師に迎え、ご自身の海外プロジェクト経験や、海外業務のやりがい、海外赴任を通じて成長したこと、苦勞したことをお話しいただき、講師と参加者の垣根を越えたフリートークの機会を設けている。第2回は「カンボジア鉄道リハビリテーション事業」をテーマとして、松下英稔氏(日本工営(株))を講師としてお迎えした。

当日は松下氏よりご自身の略歴、鉄道リハビリテーション事業概要の説明ののち、現地での技術的なトラブルや仕事に対する日本との価値観の違いなど、海外業務の実態について紹介があった。参加者からはプロジェクトについてだけでなく、衣食住などの現地の環境や日本の家族とのコミュニケーション手段、帰国の頻度など講師の生きた経験について熱心に質問をする姿があった。講師の言葉ひとつひとつが参加者にとってよい刺激となったようである。

本企画の詳しい報告については国際センター通信8月号をご覧ください。



ご自身の略歴を紹介する松下氏

Event Calendar

国際センターが企画するイベント(行事)については、以下のURLでアクセスし、「イベント情報&開催報告」をご覧ください。

<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/>

土木学会国際センター

検索

News Pick Up !! と Event Calendar の詳細は、毎月発行の「国際センター通信」をご覧ください。

「国際センター通信」は下記の学会ホームページ(日本語版・英語版)からもアクセスできます。また、メール配信を希望される方は、国際センター事務局までメールにてお申し込みください。 ※国際センター事務局 e-mail: iac-news@jsce.or.jp

■ 日本語版 HP : <http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/26>

■ 英語版 HP : <http://www.jsce-int.org/pub/iacnews>

■ Facebook : (日本語版) <http://www.facebook.com/JSCE.Jp/>

■ (英語版) : <https://www.facebook.com/JSCE.en>